

数学科（数学Ⅰ） 学習指導案							
日 時	令和7年6月11日（水）2限目		授業者	阪本 武士			
学年・組	1年4組	教 室	14教室	教科書	最新数学Ⅰ（教研出版）		
单 元	2次関数		内容のまとめり	2次関数とグラフ			
单 元 の 目 標	関数の概念を理解し、関数のグラフをかくことの意義がわかる。 2次関数の式を平方完成することができ、グラフをかくことができる。		指 導 計 画	1 関数・・・・・・・・・・・・ 1時間 2 関数とグラフ・・・・・・・・ 1時間 3 $y=ax^2$ のグラフ・・・・ 1時間 4 $y=ax^2+q$ のグラフ・・・ 1時間 5 $y=a(x-p)^2$ のグラフ・・・ 1時間 6 $y=a(x-p)^2+q$ のグラフ・・・ 1時間 7 $y=ax^2+bx+c$ のグラフ・・・ 2時間 (本時はその1時間目)			
单 元 の 評 価 規 準	知 識 ・ 技 能	$y=ax^2+bx+c$ のグラフをかくためには、 $y=a(x-p)^2+q$ の形に変形する必要があることを理解し、その計算とグラフをかくことができる。					
	思考・判断・表現	2次関数のグラフの平行移動は、頂点の移動を考察すればよいことを理解している。					
	主体的に学習に取り組む態度	一般の2次関数 $y=ax^2+bx+c$ について、頂点の座標を考察しようとする。					
本時の指導							
	主题（教材）	平方完成を利用して、グラフをかけるようにする。					
	前時の課題	平方完成を理解している。					
本時の目標	2次式の平方完成ができる。 平方完成を利用して、2次関数のグラフがかける						
評価規準	2次式の平方完成ができ、グラフがかける。（知・技）						
指 导 程 序	学習活動	時間	指導上の留意事項	評価方法、資料等			
	導入	1 前時の学習内容を確認する。 2 本時の学習内容を確認する。	10	<ul style="list-style-type: none"> 一般形から基本形への式変形が平方完成であることを理解させる。 半分にすることは、2分の1倍することを理解させる。 			
	導展	1 例題4を解く。 2 乗の係数が1の場合との違いを踏まえて、どこがポイントとなり、どのような変形になっているか考える。	15	<ul style="list-style-type: none"> 式変形を提示し、ポイントとなるところに注目させる。 x^2の係数をくくりだすことを理解させる。 グラフのかき方を確認する。 			
	過開	2 練習13を解く。 グループで問題を解き、発表する。	20	<ul style="list-style-type: none"> { }をはずす際に、計算ミスをしないようにさせる。 頂点を確認させる。 <p>【評価方法】 ○発表内容 (思・判・表)</p>			
	整理	1 本時のまとめを行う。 2 次時の学習内容を確認する。	5	<ul style="list-style-type: none"> 本時の内容が理解できているか確認させる。 			
備考	情報ビジネス科 生徒数40名						